



# KHI Group CSR

## 川崎重工グループのCSR

### 川崎重工グループのCSRの枠組みづくりと 取り組み課題

川崎重工グループのCSRは5つのテーマからなっています。  
テーマごとに個別領域を設け、その中でそれぞれの「目指す姿」を設定しました。

#### CSRの5つのテーマ

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1 総合技術力で未来をひらく価値を創り出します   | 事業     |
| 2 社会の信頼に応えるため、いつも誠実に行動します | マネジメント |
| 3 ずっと働きたい職場をみんなで作ります      | 従業員    |
| 4 「地球が微笑むものづくり」を追い求めます    | 環境     |
| 5 社会と未来につながる貢献の輪を広げます     | 社会貢献   |

企業に対する社会の期待はさまざまです。これらの期待を、お客様からのご要望・NPO等のCSR調査項目、ISO26000の中核主題などから収集・集約し、この中から川崎重工グループとして取り組むべき課題項目をテーマごとに抽出しました。

中期経営計画「中計2010」(2010~2012年度)期間中には85項目の取り組み課題を設定して現状を自己評価し、「足りないところは補い、強みはより向上させる」ことを目標としてアクション

プランを策定し、PDCAサイクルを回してきました(個別の課題項目への取り組み状況は29~42ページのテーマごとの報告をご覧ください)。

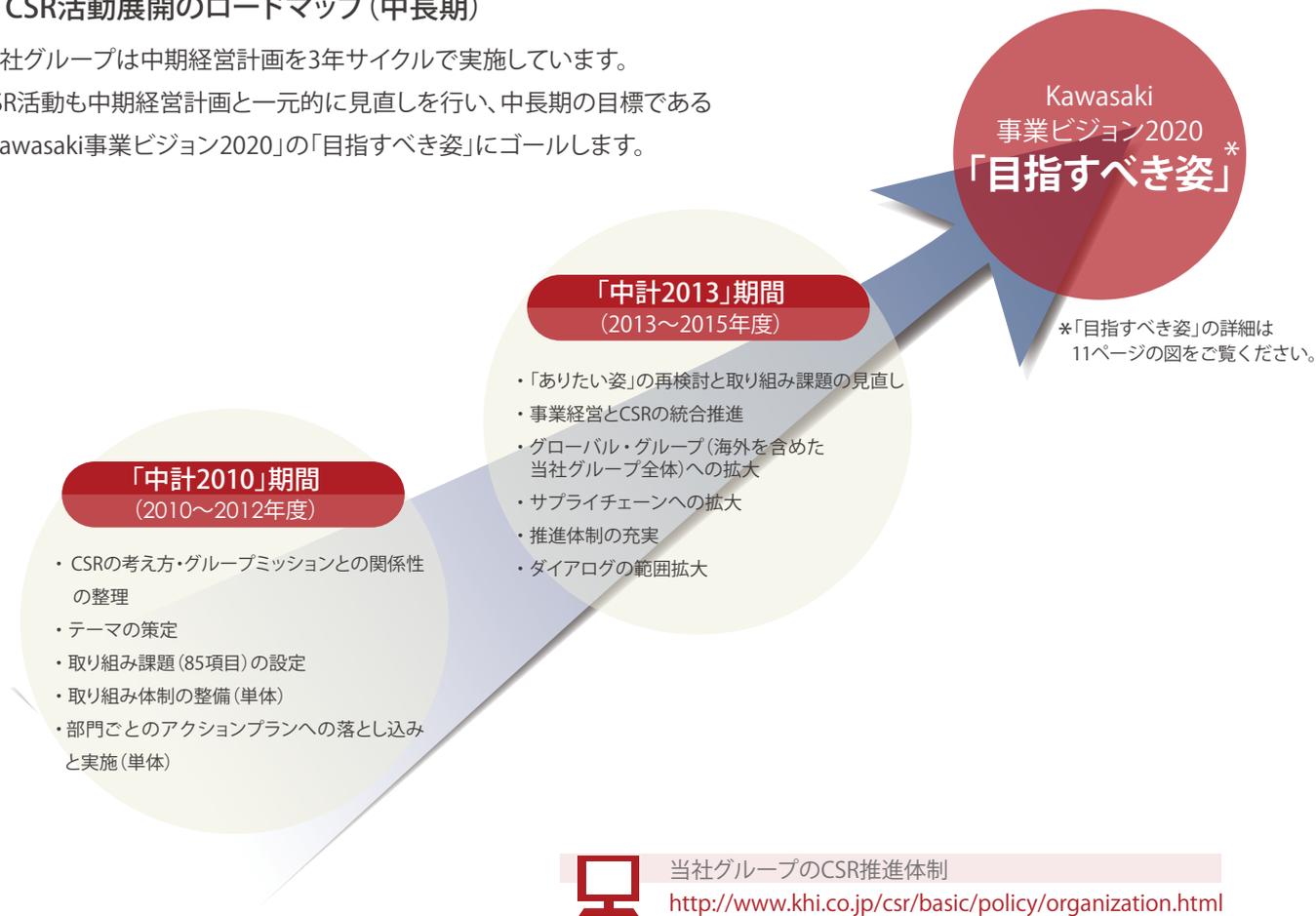
2012年度末には過去3年の状況を踏まえながら課題を見直し、中期経営計画「中計2013」(2013~2015年度)期間中に取り組むこととしました。課題項目の詳細はテーマごとの報告ページに記載しています。

#### CSRのテーマ・個別領域と目指す姿

テーマ	個別領域	目指す姿
全般	(CSR全般)	グループミッション(社会に対する当社の使命)をより高いレベルで実現します
事業	製品開発	グループの総合力を活かして、高度な技術力で高機能・高品質の製品を開発します
	製品責任	お客様の視点に立った、「信頼」「安心」の製品・サービスを提供します
	お客様満足	お客様のニーズを満ち、感動を伴う製品・サービスを提供します
マネジメント	コーポレート・ガバナンス	経営の透明性と健全性を追求し、事業部門の自立的な運営とともにグループ総合力の発揮を実現します
	コンプライアンス	風通しが良く自浄作用の働く組織を築き、信頼される企業風土を確立します
	リスク管理	事業目標の達成を阻害する重要なリスクを把握し、最適な対応が取れる体制を構築します
	情報セキュリティ	確実な情報セキュリティ対策を行い、情報の安心と安全を維持します
	情報開示・IR活動	適時的確に企業情報を発信し、開示内容もさらに一層充実させます
	お取引先	お取引先と共生し、公正なパートナーシップを継続するとともに、CSR活動の協働を推進します
従業員	安全・衛生	心身ともに健康に働くことができる、安全で快適な職場環境を築きます
	人財開発	一貫した従業員の育成・強化を行い、人的価値を最大限に高めます
	人権	従業員の多様性を尊重し、さまざまな価値観と能力を受け入れ、活かす職場を目指します
	労働	働きがいのある職場づくりに努め、公平・公正な処遇を行います
環境	地球環境	低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現を目指します
社会貢献	地域社会・日本社会	地域社会と共生・連携し、未来の夢のテクノロジーを担う次世代の育成を支援します
	国際社会	世界の国々の文化を尊重し、技術や人財の育成を通じて豊かさの実現に寄与します

### ■ CSR活動展開のロードマップ(中長期)

当社グループは中期経営計画を3年サイクルで実施しています。  
 CSR活動も中期経営計画と一元的に見直しを行い、中長期の目標である  
 「Kawasaki事業ビジョン2020」の「目指すべき姿」にゴールします。



## 中期経営計画「中計2013」(2013～2015年度) 期間中のありたい姿と施策

「中計2010」期間の取り組み課題をベースに、新たにいただいたお客様のご要望や海外のSRIインデックス(企業の財務面に加え、環境および社会面の取り組みなども重要な投資判断事項とする社会的責任投資の指標)の評価項目を盛り込んで再度整理しました。

「ありたい姿」を比較的ゆるやかに設定し、単年度ごとの各部門のアクションプランでしっかり取り組み、PDCAサイクルを回していく形をとっています。

また、当社グループに求められる姿をより具体的に追求するために、「有識者ダイアログ」を行っています(2012年度実施分については85ページを参照ください)。いただいたコメントやご発言は、ステークホルダーのご意見を代弁するものとして、CSR活動に反映させていきます。この活動は2013年度以降も継続・拡大して実施していきます。

CSR推進全般に関わる「ありたい姿」は下記の通りです。  
 各テーマの「ありたい姿」は、テーマごとの報告ページをご覧ください。

ありたい姿	施策
川崎重工グループの社会的責任を明文化し、グループ全体として従業員に周知し、推進体制を整備している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CSRのアップデート、グループへの周知</li> <li>・ グローバル運営</li> <li>・ 拠点会議を活用したCSRの周知徹底</li> </ul>
ステークホルダーの意見を聞き、企業活動・事業活動に反映している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダイアログの継続・拡大、SRIインデックスのCSR活動への取り込み</li> <li>・ 労使交渉や経営者と従業員の直接対話の充実</li> </ul>
国際的なCSR関連行動基準を尊重している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル・グループでの人権問題への取り組み推進</li> </ul>